



Marianna Angels

2018. March

マリアンナエンジェルズ通信 Vol.16

発行 聖マリアンナ医科大学ナースサポートセンター

〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

http://www.marianna-u.ac.jp/hospital/

年 1 回発行

M.A通信 編集部
Special Report!

私の看護力UP!

自分の目指す看護、目標に向かって邁進しています!

理想的なナースになるために、設定した目標や課題に対してどんなことを実践したのか?

入職からこれまでの2~3年を振り返り、達成までひたむきに努力した看護師たちの熱いメッセージを送ります。

看護技術の習得と 患者さんとの関わり方を学んで。

大学病院

日原 史織 神経内科



患者さんから「あなたに見てもらって安心。良かった」と思ってもらえる看護師になりたい。そのため日常生活動作や治療の介助も含め多方面から安全で安心できる看護を提供できるように、技術を確立することを目標にしました。実際、看護技術に関してはナーシングスキルや病棟での学習会の資料を参考にして事前学習するよう努力し、また事前学習でわからない部分は、実践する前に先輩看護師に確認していただくようになりました。その結果、根拠を明らかにして看護技術を提供できるようになりました。また、先輩方に自分自身がどこまで理解できて、どの部分が分からぬか明確にして質問することで、学びを深めることができました。技術だけでなく、コミュニケーションの取りにくい患者さんに対して言葉のかけ方、患者さんとの関わり方、何を大切にしているなどを実際の場面を通して指導していただき、心に残りました。

神経内科では進行性の疾患が多くコミュニケーションが難しくなり、在宅看護を長期に必要とする患者さんが多いです。これから家族がどのように患者さんを見ていきたいか、今まで何を大切にしてきたかを情報収集することが重要だと学び、患者さんや家族との関わりなど多方面からとらえることを意識できるようになりました。今後は患者さんの経過から先を見据えた介入が行えるように在宅支援に力を入れていきたいです。

2年目には患者さんに 個別性のある看護を実践。

東横病院

五代 萌音 消化器・循環器内科



患者さんにとって、一番身近な存在が看護師であるため、忙しい中でも患者さんの目線に立ち、寄り添う気持ちを持って業務にあたりたいと思ってやってきました。当院は診療科が限られているため、その科に特化した知識や技術を深く掘り下げて習得できます。最終的にはジェネラリストを目指せるのが強みなので、幅広い知識の獲得を目標として励んでいます。初めての疾患や理解が難しい病態、初めての技術や介助は、必ず復習して自分が納得できるまで学習したり、先輩に質問したりしています。その結果、少しずつ病態や疾患の理解につながり、日々実践している看護に結び付くようになってきました。

1年目は業務に追われて、患者さんとの関わりは満足にできませんでしたが、先輩看護師が業務フォローや技術・学習の進捗状況の確認、それ以外での悩みを聞いてくださり、手助けをいただきました。2年目には少しゆとりも生まれ、一人ひとりの患者さんと密に関わり、個別性のある看護を考えられるようになりました。同時にチームの一員としての自覚も持て、周囲に配慮しながら行動できるようになりました。

リーダートレーニングも始まり、今後はチームをまとめていくにあたって今まで以上に疾患への知識や判断力が求められるので、視野を広く持ち、様々なケースに対応できるように応用力をつけたいです。

私の病院自慢

救命救急センターで動物介在療法を取り入れた看取り

一勤務犬ミカがもたらしたものー

当院ではAAA(動物介在療法)を取り入れていますが、救命救急センターでも先日、ご家族から犬が好きだった患者さんのために、勤務犬ミカに訪問してもらいたいとのご希望があり、初めてAAAを取り入れました。患者さんにはミカが来る日の前で頑張ってほしいと思いながら活動口を待ちました。ミカが患者さんのベッドに行くと、待っていたかのように患者さんは心臓の動きを止めましたが、しばらくミカとご家族が、とにじみ取る場を持つことが出来ました。退室するとき、ミカが残されたご家族の足元にピッタリと止まり、ご家族を慰めるかのようにその場にとどまってくれた姿を見て、AAAを取り入れてよかったと実感しました。

救命センター 館長 梶谷 和子



新春研修

目標を共有し、平成30年度の活動スタート!

毎年1月に看護部では次年度の看護部活動目標を看護職員に提示することが恒例になっています。ここまでに、看護部長、副部長、師長、副師長協働でSOWT分析して目標を立案します。総勢17名で意見と知恵を出し合い、導き出します。平成30年1月30日に多くの職員参加の下、活動目標の発表会が開催されました。緊張の後は、皆で軽食を取りながら意見交換しながら交流を図り、平成30年度の活動に向けてスタートを切りました。

看護部 教育委員会



努力の結果、患者さんから 「あなたでよかったです」と。

西部病院

畠川 明子 代謝・内分泌内科、
リウマチ・膠原病内科、神経内科、眼科

入職に際して「患者さんに信頼される看護師」になることを目指しました。そこで、①患者さんとの約束は必ず守る、②分からないことはそのままにせず調べる、の2つを目標に決めました。目標達成のために、患者さんに頼まれたことや一緒に設定した約束事を忘れないよう、そのたびにメモをとりました。また、分からないことや困ったことがあつたら、先輩に相談したり、本などで調べたりしました。こうした自分なりの努力が、患者さんとの関わりの中でも活かせたのでしょうか、患者さんから「あなたでよかったです」と、言ってもらえたことが何よりの喜びとなりました。

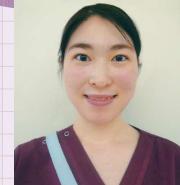
年間を通して先輩看護師のフォローリスト体制があり、とても相談しやすい環境でした。そして、私のことを客観的に見て、自分では気づいていない「くせ」も教えてくださいました。看護業務の面でも、私が不安を感じている所は、親身に寄り添って教えてくださいました。

3年目を迎えて、自分の業務だけでなく周りのメンバーの動きを見てコミュニケーションをとり、困っているスタッフに声をかけられるようになりました。これからはチームメンバーの視点、リーダーの視点から、患者さんのことを第一に考えられるように頑張りたいと思っています。

患者さんとご家族に寄り添った 看護を目指して。

多摩病院

森満 知恵 脳神経外科



私は脳神経外科病棟に所属しており、患者さんの多くは脳血管障害を患っています。急な発症により、障害を持った患者さんとそのご家族は、長期にわたる介護など戸惑いや不安を多く抱えます。私は患者さんだけでなくその家族にも寄り添った看護をしたいと思い、2年目の研修で行なわれる事例研究を通して家族看護を深めるようにしました。まず患者さんの家族の話に耳を傾け、今後の目標を一緒に決めて家族もケアに参加したところ、日々回復する患者さんの姿を見て障害を受け入れるきっかけを作ることが出来ました。不安な表情だった家族には次第に笑顔が多く見られ、「一緒にがんばろう」と前向きな意識へと変わり、介護を継続していく上での原動力となる感じました。新人の頃は業務に追われ、患者さんや家族に寄り添えず戸惑っていましたが、そんな時先輩看護師は温かく見守り、助言を頂いたことでだんだんと自信が持てるようになりました。

今年、患者さんの退院や転院調整に関わることを学んでいます。退院や転院支援では家族の協力が不可欠です。自分から積極的に家族と関わることで、知り得た情報を多職種と共有しながら、より良い支援ができるようになります。成長とやりがいを感じています。今後も家族支援を意識しながら、病棟全体でスムーズな退院・転院支援ができるように活動していきたいと思っています。

4 病院紹介

西部



開院30周年

～これからも地域とともに歩みます～

昨年度、開院30周年を迎えた西部病院は、年間を通して様々なイベントを行いました。祝賀会、地域住民向けの記念公演、毎年行っている看護週間イベントは景品付きのスタンプラリーを行い、祝賀ムードに包まれました。職員は、記念ロゴマークの入ったモバイルバッテリーと西部病院の職員の笑顔が詰まった記念DVDが配られました。これからも西部病院の職員であるという誇りを胸に、全職員一丸となって地域とともに歩み、また新しい西部病院への一歩を踏み出していくたいと思います。

看護部 島守 可奈恵

腎センター

退院前・後訪問指導開始。

腎センターでは主に血液透析療法、腹膜透析療法を行っています。近年は、高齢化社会への対策として、在宅治療である腹膜透析療法を導入するケースが増えています。そこで患者さんは安心・安全に在宅治療ができるようサポートの一環として、今年度より退院前・後訪問指導を開始しました。病院での指導だけでなく、ご家庭に出向く患者さんの生活の場で指導を行うことで、より一層、個別性のある看護に繋がっています。

腎センター 長師 本郷由美子



多摩

チーム医療紹介

大学病院

赤ちゃんと両親の未来を繋ぐ仕事

NICUに配属されて約2年。最も印象に残っているのは、妊娠とともに胆管癌ステージIVの診断を受けたご家族のプライマリーとなったことです。母親は癌治療のため、28週で帝王切開となりました。そこで、家族の思いをその都度確認しつつ、家族の時間を大切にするという観点から、母親の治療と病状に合わせながら、入院病棟からベッド移動しての育児手技やカンガルーケア等を計画・実施しました。その際、ケアに対する子どもの反応をフィードバックし、両親の子どもへの理解が深まるよう関わってきました。また、母親が自宅での臍帯生活と養育並行できるよう、MSC(地域連携を担当するメディカルサポートセンター)や複数の病棟間での情報共有を行なうながらサポートを行い、自宅退院へと繋げることができました。初めての経験ばかりで戸惑うことが多かったのですが、NICUにおける看護について改めて考えることが多かった貴重な体験でした。この事例を通して、言葉で直接訴えることが出来ない子どもの代弁者となるように、そして子どもと離れた状態となった両親が“親”として自信を持ち、退院後の生活をイメージできるように、これからも支援していきたいと、より強く感じました。

△左 永田杏梨 右 太田垣桃子
5南病棟 太田垣桃子(3年目看護師)
主任 永田杏梨

救命救急医療 救命救急外来看護師への育成プロセス

東横病院

私の看護エピソード

一家族の絆を深めてー

私は、HCU勤務で入職して2年目です。事例を通して看護を深める課題にチャレンジしました。患者さんは40歳代男性、くも膜下出血にて緊急治療後、脳血管狭窄期で安静目的で鎮静薬使用中でした。徐々に薬剤を減量し意識覚醒への時期に来っていました。毎日、面会に見える奥様より「娘の成人式で晴れ着姿を患者に見せたい」と私に相談されました。私は、この希望を叶えてあげたいと思い、リーダー看護師に報告し、医師を含めカウンタレンスを開いてもらい検討しました。その結果、家族の希望に沿えるように鎮静剤の調整と身体の整容を来院時間に合わせる計画を立て実行しました。当日、十分な意識覚醒に至りませんでしたが、奥様と娘さんは「着物着てきたよ、見て」と何度も声かけて、少しでも晴れ姿を父親の目に入れてもらおうとしている姿を私たちには見守っていました。そこで、私は写真撮影を提案して家族3人の姿を撮りました。数日後、病室には、家族の寄り添う写真が飾られていました。入院中でも家族としての時間・記憶を共有できるようにケアすることの大切さに気付けたのは、この家族との出会いと「自分の家族だったら考えてみて」と指導して下さる先輩看護師のおかげです。感謝です。

HCU 斎藤由紀

救命救急医療

西部病院

当院の救命救急センターは、急性期病院として横浜市西部地区医療圏の中核を担っており、三次救急患者を中心に受け入れるER(救命救急外来)、集中治療を行うICU(Intensive Care Unit)、回復期に至るまでの高度治療室HCU(High Care Unit)、の3つの部署で構成されています。ER看護師はICUとHCUの看護師が担当しており、自分がERで担当した患者の入院後の経過をその目で見ることができます。ER看護師を担うには、まずICUやHCUで患者の受け持ちを行いアセスメント能力を磨きます。病棟でリーダー役割が担える3年目から、ERリーダー指示の下で初療治療・看護を学びます。その後半年~1年後にERリーダーとして三次救急を含めた初療治療・看護を実践します。実践の指導・評価は救急看護認定看護師が行っています。ERでは学習会の機会も多く、最近導入した院内トリアージ(病院に搬送された患者に対し、看護師が患者の状態を評価し、ERにおける治療順位を決定すること)など、事例型学習会が開催されています。経験者は自分の行動や考え方をナラティブしながら事例を振り返り、共有しながら学習できます。他にも救急看護コースや医師と合同企画のシミュレーション研修なども行っています。地域中核病院として高度なチーム医療を提供できるよう初療対応能力を向上させたいと思います。

救命救急センター主任救急看護認定看護師 太田直美



△救命研修

多摩病院

イクメン看護師奮闘記!



“父親”として成長しながら、働き続けられる環境

私自身、直接育児支援制度を利用したわけではないのですが、周囲のサポートを受け、“父親”をしながら、働く環境について話させていただきます。まず、出産予定日を師長に相談したところ、その後で連休をいただくことができました。しかも4日間(笑)。普通の職場ではありませんよね。おかげで、出産に立ち会え、“父親”としての責任を再確認できました。同じ病院で働く妻が復職してからは、お互いの勤務をそれぞれの師長に相談し、妻が勤務の時は私を休みにしてもらうなど調整をしていただいている。また、夜勤明けや休みの日は、普段できない家事をしたり、子供と出かけたりします。子供は電車が好きなので鉄道博物館や東京駅へ新幹線を見に行きます。先日は、家族で北海道に行くことができました。平日に行けるので、空いていてゆっくり楽しめます。このような働きができるのは、師長や病棟スタッフの理解が大きいと思います。育短・時短勤務のスタッフとも話が合うので、子供あるあるで盛り上がりがります。

5階東病棟 主任 浅水翔太

マンガでGO!

信頼される看護師になるために。。



聖マリアンナ医科大学附属病院1施設それぞれの病院にて一人ひとりのキャリアアップを支援するために豊富な教育プログラムが組まれています。1年目のキャリアアップではどのようなイメージで1年間を過ごし成長できるか、病院の計画に自分の目標を設定してオリジナルパスを完成させます。目標に向かって努力した先には患者さんの笑顔が待っているのです。

大学病院 リニューアル

新病院テーマ
選ばれる病院
～人・社会・未来から～

多様な高次機能を備え、
人に優しく、働きやすく、
社会の変化に柔軟に対応できる
未来志向型病院へ



掲示板

2018年度 現地試験会場

[時 間] 13:00~16:00
[問い合わせ] 044-977-9316(人事課直通)
※就職説明だけの対応も受け付けています。希望される方は、10日前までに人事課へご相談ください。

札幌	7月14日(土)	北海道健保会館
弘前	8月25日(土)	ホテルニューキャッスル
八戸	7月14日(土)	八戸市公会堂
盛岡	7月28日(土)	アイーナ
仙台	6月 9日(日)	仙台カーデンパレス
高知	9月 1日(土)	高知城ホール
福岡	6月23日(土)~7月21日(土)	都久志会館
宮崎	9月15日(土)	KITENビル コンベンションホール
鹿児島	9月15日(土)	川内文化ホール
沖縄	9月 8日(土)	あおどま会 沖縄看護専門学校

2018年度 4病院試験会場

[会 場] 聖マリアンナ医科大学 菅生キャンパス
[時 間] 10:00~12:00
[問い合わせ] 044-977-9316(人事課直通)

2018年
4月 14日(土)
5月 12日(土) 26日(土)
6月 9日(土) 23日(土)
7月 14日(土) 28日(土)
8月 25日(土)
9月 8日(土) 22日(土)
10月 27日(土)

携帯ホームページをご参照ください。
<http://marianna-u.ac.jp/hospital/>



<https://www.marianna-u.ac.jp/form/nsr/entry.php>

インターンシップ

聖マリアンナ医科大学へ就職を考えている方、自身のキャリアを急成長期からスタートしたい方、ぜひインターンシップにご参加ください! みなさんの参加をお待ちしております。

■ 対象者: 本学へ就職を考えている方 (131年~132年3月卒業見込みの看護学生、助産学生)

■ 補 助: 交通費支給(片道)、看護師寮宿泊(無料)/前泊

※(対象条件あり)

※(交通費: 病院に閑わざず法人へ1回のみの支給)

※(宿泊: 来院が18時以降になる場合は、ご遠慮願います)

■ その他: 前日に他1病院の施設見学も可能です

インターンシップ後に採用試験の受験も対応します。

右記「インターンシップ申し込み」QRコードより申し込みください。▶